

令和4年第6回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和4年6月27日	午後1時30分
招集の場所	全員協議会室	
開会の日時	令和4年6月27日	午後1時45分
閉会の日時	令和4年6月27日	午後3時40分
出席者の氏名	小野田誠教育長、福田孝夫教育長職務代理者、遠藤康江委員、猪股富美子委員、秋山哲也委員、山本俊一委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	石井幸子生涯学習部長、遠井久夫学校教育部長、野本朋子こども局長兼学校教育部理事、高貫貢生涯学習部副部長兼教育総務課長、鳥海生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長、渡辺伸征文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長、松井善人スポーツ振興課主幹、大原真理子図書館課長兼加須図書館長、清水博文学校教育課長兼指導主事、武井由加里学校給食課長兼加須学校給食センター所長、長沼理史こども局参事兼子育て支援課長兼学校教育部参事、関口久美子こども局こども保育課長兼学校教育部主席専門員、佐藤政治生涯学習課主幹、大舩隆弘学校教育課主幹兼指導主事、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1	会議時間の決定
	第 2	会議録署名委員の指名
	第 3	前回会議録等の承認
	第 4	第26号議案 加須市社会教育委員の委嘱について
	第 5	第27号議案 加須市生涯学習推進会議委員の委嘱について
	第 6	第28号議案 加須市文化・学習センター運営委員会委員の委嘱について
	第 7	第29号議案 加須市スポーツ推進審議会委員の任命について
	第 8	その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	<p>ただいまから、令和4年第6回加須市教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p> <p>会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。</p> <p>本日は傍聴希望者はありません。</p> <p>【日程第1 会議時間の決定】</p>	

小野田教育長

日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることによろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。

小野田教育長

【日程第2 会議録署名委員の指名】

日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は遠藤委員にお願いいたします。

遠藤委員

はい。

小野田教育長

【日程第3 前回会議録等の承認】

令和4年第5回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。

小野田教育長

ご質疑、ご意見等ないようですので、令和4年第5回定例会の会議録については承認ということによろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

それでは、承認とします。

小野田教育長

日程第4 第26号議案「加須市社会教育委員の委嘱について」から日程第7第29号議案「加須市スポーツ推進審議会委員の任命について」までは、人事案件及び個人情報を含む案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号及び第4号の非公開情報にあたります。

よって、日程第4から日程第7までは、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることによろしいですか。

(よろしい との声あり)

小野田教育長

それでは、これより会議を非公開といたします。

【日程第4 第26号議案 加須市社会教育委員の委嘱について】

(全員賛成により原案可決)

【日程第5 第27号議案 加須市生涯学習推進会議委員の委嘱について】

(全員賛成により原案可決)

【日程第6 第28号議案 加須市文化・学習センター運営委員会委員の委嘱について】

(全員賛成により原案可決)

【日程第7 第29号議案 加須市スポーツ推進審議会委員の任命について】

(全員賛成により原案可決)

小野田教育長

これより会議の非公開を解きます。

【日程第8 その他】

小野田教育長

日程第8 「その他」でございます。諸般の報告をさせます。石井生涯学習部長より順次報告をいたします。

石井生涯学習部長

- ・学校の適正規模適正配置について
- ・水泳指導におけるプールの共同利用及び民間委託について
- ・令和4年度「下総暁一」関連イベント

遠井学校教育部長

- ・水泳指導の民間委託実施状況について
- ・中学生学力アップ教室「加須まなびTime」の実施について
- ・感染拡大防止を踏まえた今後の教育活動について
- ・運動部活動の地域移行に関する検討会議について

野本こども局長兼学校教育部理事

- ・新型コロナウイルスについて
- ・マスク着用の考え方について
- ・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の支給について
- ・加須市子育てフードドライブについて
- ・公立幼稚園の統廃合について

小野田教育長

次に、本日配布した資料について、担当課長から説明をいたします。

松井善人スポーツ振興課主幹

- ・令和4年度加須はなさき公園夏季プール小学生水泳教室及び小学生無料チケット引換券配布の中止について

清水学校教育課長兼指導主事

- ・令和4年度北埼玉地区夏季総合体育大会について

小野田教育長

それでは、委員さんの方で、説明がほしいまたは質問等がある資料はございますか。

秋山委員

「水泳指導の民間委託実施状況について」で教員や児童の声で、先生はとても指導にあたり勉強があったということで、児童も楽しかったということでよかったです。学校のプールでは担任の先生が基本的に1人で見ないといけませんが、民間の方が指導員もいるので、事故防止という点でも非常にいいのではないかと考えています。そのような中で、懸念材料や心配な声とかそういうのがありましたら教えていただければと思います。

清水学校教育課長兼 指導主事	<p>バスで移動しますので、どうしても時間がかかるという部分はございます。</p> <p>今回、先進的に2校で実施していますので、管理職が一緒に見に行っておりまして、今後、課題を情報提供いただくということになっております。</p>
小野田教育長	<p>比較的人数の少ない学校を指定していますので、円滑に行われていますが、1年生から6年生まで20クラス以上あるようなところになってくると、季節に関係なくプールをやらないと終わらないなどの問題が出てくると思います。</p> <p>現在は、人数が少ないので担任も入ってきめ細かに指導していますが、2校の取り組みを、課題と成果に分けて報告していただくことになっていきますので、今度はこれを拡大していく時の課題について、教育委員会に、お出しする予定です。</p>
猪股委員	<p>水泳指導の民間委託について、今回どのくらい予算だったのでしょうか。また、修繕にかかる経費と、今後、段階的に業者委託にした場合のコストのシミュレーションをしているのでしょうか。</p> <p>学校の指導要領の中の取り組みなので、持続可能なものでなければならぬので、予算の面と、もう一つは、スウィンさんも、企業体なわけで、つぶれるとかなくなるとか、そういうリスクもあります。だから、委託先の、運営状況によって、万が一持続できなくなった時のバックアップとか、そういうことは考えられているのでしょうか。</p> <p>それから、体育の評価にも繋がる活動でもあるので、業者との役割分担、それから事故が起きたときの業者と学校側の責任負担とか、そういうリスク管理はどういうことになっているのかを教えてくださいませんか。</p>
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>今、手持ちのない資料もありますので、わかる範囲でお答えし、必要なものについては、今後ご提供させていただきます。</p> <p>スウィンへの業務委託でやっております、金額は手元にありませんが、指導支援とバスの送り迎えも含めて委託しております。パイロットということで、規模が小さいところで、夏の期間にできるというところで選択をし、樋遣川小学校と豊野小学校で行っております。</p> <p>企業としての安定性というところにつきましては、まだそこまで詰め切れていないのが正直なところです。</p> <p>スウィンの利用につきましては、加須市内の民間のプール事業者というところがスウィンだけだったところもあり、進めていきましたが、今後、課題の洗い出しをしていかなければいけないと思っております。</p> <p>事故があった場合の責任は、どこまでがどちらの責任になるかというところで整理ができていない部分もございますので、整理をしながら進めてまいります。</p>
小野田教育長	<p>2校の成果と課題がまとまったときに、予算的なものも含めて載せてください。</p>
清水学校教育課長兼 指導主事	<p>評価でございますが、必ず担任が同行し、担任が評価を行うこととなっております。場合によっては、指導している方が、彼らはどの程度のレベルがあるよという情報をいただきたいと思います、スウィンが評価に関わるということはありません。</p> <p>2点目のリスクに関しまして、学校のプールの授業と同様に、まず教員がリスク管理を行っておりますが、多く的人数で見えていますので、より安全に行われていると思っております。写真でもございますが、AEDの設置ですとか、緊急連</p>

絡体制をとりながら、大きなリスクの場合には、学校が責任を負うことになると
思っております。

小野田教育長

先ほど責任とか事故の対応については共同利用の学校も同じで、例えば、高柳小が騎西小学校にプールを行っていますが、スポーツ振興センターの保険の適用内であることと、それぞれの学校の責任の部分があると思います。

後で検討しないといけないのは、騎西小のプールを使ったときに、高柳小学校の子が来て、騎西小学校のプールの瑕疵によって事故が起こった場合は、施設管理とプール指導という形になると思うので、これもはっきりとしておかなければいけない課題になると思います。

そのあたりも含めて、この検証の結果についてお示しをお願いします。

遠藤委員

市民学習カレッジセミナーの件で、定員の5割以上の申し込みがないと、中止にしますとなっているので仕方がないのですが、夏休み子供講座の電気教室が、3人の申し込みで中止となっています。この3人のお子さんが、電気に関心があっても、講座がなくなってしまうのがとてもかわいそうで、子供がやることは大目に見て、実施していただけないかと思いました。

もう一つ、中学生学力アップ「加須まなびTime」の実施の件で、大和の参加が1名で、せっかく教えに来ていただいた方がもったいないと思います。

鳥海生涯学習課長兼
北川辺郷土資料館長

この3人のお子様の希望者に、中止の連絡をしまして、騎西の文化学習センターで企画しているものですが、講師の方と事前に連絡を取り合って決めていることなので、材料の関係とか、3人だとできない理由があるのかなとは思いますが、せっかく3人が電気に興味を持っているということもありますので、今後の課題とさせていただきます。

清水学校教育課長兼
指導主事

加須まなびTimeですが、もともと大和中学校の参加希望者が少ない中、大会直前の土日だったというところも重なってありました。

今後、できるだけ多くの生徒が参加できるように声かけして参ります。

福田教育長職務代理
者

加須まなびTimeで1名というのはもったいないです。北川辺も6名であり、これから長い間やっていきますと、0ということがあるかもしれませんので、特にこの2会場で、よろしくお願ひしたいと思います。

給食費の未納の状況で、未納人数が一番多い学校について、理由が何かあるのかお聞きします。

武井学校給食課長兼
加須学校給食センター
一所長

5月31日現在の資料ということで、今回お出ししております。その後、納入いただいた家庭もありますので、現在の未納は、この半分程度となっております。

こちらにつきましては、学校にもご協力いただきながら、また児童手当から徴収する制度等の説明もさせていただきながら、未納解消について、努力してまいりたいと思っております。

未納が多い学校について、昨年度と比べて、何か大きく変わったということはありませんが、在籍するお子さんの数が多いというところはあるのかと思います。

山本委員

加須まなびTimeのことについてですが、学習内容は各生徒の課題に沿った学習とあり、対象は希望者とあります。

学習についていけない子の補習的な意図から始めたのか、それとも、金銭的に塾に行けない子にこういうところもありますよということなのか、3年生で意欲ある子がさらに勉強したいっていうことで行くようなことなのか、これを始めた意図を教えてください。

また、そういうことが、募集時に、保護者や子供たちに、こういう内容だから、こういう子が来てよということが書いてあるものを配ったのかということをお教えいただきたいと思います。

清水学校教育課長兼
指導主事

最初は学力向上ではなく、塾に行けない家庭を救うための取り組みからスタートしております。

それが徐々に形を変えまして、現段階では、すべての生徒に、募集をかけておりまして、特に制限はありませんので、最近では、保護者がぜひということで、塾に行っている、勉強したい子が多いかなという印象です。

小野田教育長

合併後始めた事業で、最初は、埼玉県がアスポート事業というのをやっていて、生活保護家庭への学力補充でした。それがなくなって、それぞれ市町村単位の事業になったときに、生活困窮者家庭、特に生活保護家庭への学びの場の提供ということで始めました。

生活保護世帯については、こういう場所があると個別に案内していますが、それだけでは学び合いなどができないので、広く募集をし、塾に行きたくても行けない子が、利用してもいい場所としてあります。

ただし、1人ではもったいないスタッフと設備があるので、多くの子供たちに広く門戸を開きながらやっています。

本当に困ったときに学ぶ場があるというセーフティーネットで置いているというのが本来の目的です。

山本委員

例えば、中学校の学習に全然ついていけない子や日本語もままならない子供たちが、ここに行くということも可能ですか。

小野田教育長

可能です。そういう子を精査して案内しているわけではないので、もし、ご近所にいれば、自分のペースでこの宿題のこの部分がわからないということに対応していただけるような流れになっていますので、宣伝していただければありがたいです。

福田教育長職務代理
者

私は、昨年度までコーディネーターでお世話になっていました。

2時間みっちり自分でやるという生徒もいます。また、飽きちゃって、半分ぐらいいは寝てしまう生徒もいます。学力がなかなかつかない子ですけど、それでも、毎回のように来ている子もいます。

学習サポーターは大学生で、教員を目指している学生もいますので、非常にわかりやすく教えています。私は花崎コミセンでしたが、大体学生が3人から4人います。時間を見ながら声をかけたり、生徒がこれはどうなんですかと聞いて直接教わったり、そういう形でやっています。

ですから、先ほど、大利根で1名、北川辺で6名というのはもったいないと思い話しました。普段の日曜日や土曜日、家にいてもただらだらしているということで、そういう子は、出れば2時間はみっちりできますので、非常に良い事業かと思っています。

秋山委員

すいません今の学びTime のことですのでごく貴重な情報をいただきまして、とても多い地域と1人しかいない地域があるので、他の地域から少ない地域に参加することは可能でしょうか。

清水学校教育課長兼
指導主事

基本的に本人が行くということですが、保護者の送迎もできると思いますので、今後の検討となります。

猪股委員

加須まなび Time についてはいろいろと知らない情報もたくさんあって本当勉強になりました。

いろいろな市民活動を通して痛感するのですが、この加須学びTime は、中学生対象ということで、加須市は市民レベルの学習支援が、ほかの市町村に比べて少なく、中学校よりも小学校も中学年ぐらいから、勉強についていけない子がいるわけで、できれば、小学校の子たちにも、こういった市民レベルでの活動支援の場が、もう少しあった方がいいなっていうのを常々考えております。

ですから、自分でできることがあれば、頑張りたいと思ってそういう意味でも、先日、後援をいただいた田ヶ谷の龍興寺さんの、取り組みに市と教育委員会に後援をいただきましたことを、この場をもって御礼を申し上げます。

学校教育の中で、カバーできない学習の場は必要だと思うので、これは私たち市民が頑張らないといけないことだなと思っています。

それから、1点、別件で質問というか要望ですけれども、部活動の地域移行について、この検討会議の提言を読みましたが、私たちも、部活動が学校教育の中でどういう位置付けにあるのかが、これを読んで、なるほどと思うところがあったので、ぜひ長いですが、読んでみてください。

それを踏まえた上で、今回の資料の中に、卒業生徒の進路状況と夏季総合体育大会の結果がありますが、この部活動の成績が、進路と直結するような状況が数年来続いておりまして、結局部活で成績を残せば、学校にも入れるというのが常態化しているので、そういう背景を考えると、この部活の地域移行をするときに勝負の成果主義に走りがちになってしまいます。学校教育の中での部活動の位置付けっていうのは、上手い下手ではなくてそれ以外の教育的な部分がとても多いので、極めたい子と、学校教育の範囲内で、いろいろな学びをしたい子と、二極化するようなことも想定されると思います。

だから、加須市だけこういう形にして良い結果がえられるものではなくて、大会のあり方とか、加須市だけの意見交換ではなく近隣の教育委員会の方たちと、こういう大会のあり方とか、進路指導における部活の成果の位置付けとか、そういうことも幅広くちょっと検討して、いただきたいというのが一つ要望です。

そういう意味でも、知りたいのは、こういう進路状況を出すときに、一般受験での合格は半分を切っているぐらいの状況なので、特に私立でも、例えば5校126名の中で、スポーツ推薦で行った子の割合もわかると、今後の部活のあり方を話し合う上で、参考になるかなと思いました。

小野田教育長

私も最近まで中学校の校長をやっていて、一番ショッキングな出来事は、中学校野球と中学校サッカーが、単独で成り立たないことです。昭和中学校は北埼玉で一番大きな学校ですが、昭和中ですら一時期サッカー部が合同チームとなりました。ということは、本気で競技思考でサッカーをやりたい子はクラブチーム、野球はシニアとカリトルへ行くという現状があります。

これは加須市だけではなく近隣も同じ状況になっているので、今の体育大会については中学校体育連盟が全部企画していますが、このあり方が変わらない限り、部活動のあり方も変わらないというのは明白なので、中体連も大会をどうするかで悩んでいます。今は中学校部活動を主体に参加していますが、クラブチームの参加を認めるという大会のあり方もあります。

高等学校の入試について、部活動を調査書に記入するかどうかという議論も国や県でやっています。今委員さんがおっしゃった、課題を同時並行でやっているの、いろいろなことを加味しないといけません。

また、最終的に外部指導者にゆだねた場合、費用を誰が負担するかっていうことに行き着きます。保護者が負担するのか、あるいはその自治体で応援するのかという問題もあるので、この辺は、毎回情報を提供したいと思っています。

猪股委員

先生とか保護者とか、それから、子供たち本人に対するアンケートみたいなのは、予定されていますか。

遠井学校教育部長

今作成しております、保護者と教員とそれから生徒に、地域移行についての考えがあるとか、今後どうしていくかということも含めて、本市の実態を調査しようと思っております。

小野田教育長

地域移行を考える前に、例えば加須北中学校の部活動をどうするかとか、北川辺中学校の部活動の数をどうするかとか、生徒数減少に伴う、部活動が成り立たないのを無理に移行しても、子供にとっては苦痛になるので、その辺も含めて、実態を把握する必要があります。

ある校長先生に聞いたら、競技思考で頑張りたいという部活動の子は、感覚で3割と言っています。要するに、全体の7割5分が運動部の中で、どうしても勝ちたいと言っているのは3割ぐらい。

教員もそうで、今の若い先生が一生懸命やって子供たちを勝たせてやりたいと思っているのも、感覚で3割強ということです。

実態はわかりませんが、子供たちのニーズがあって初めての改革なので、その辺はご意見ください。

小野田教育長

以上で、令和4年第6回定例会の議事日程は、終了といたします。

なお、次回、令和4年第7回定例会は7月22日（金）午後1時30分に開会します。

これもちまして、令和4年第6回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和4年7月22日

教育長 小野田 誠

委 員 遠藤 康江

書 記 岡田 正道